



北郷幹夫 議員

②平成28年度、一般家屋の定点モニタリング、※メッシュモニタリングを実施し、平成23年度と比較すると、家屋の1メートル高の空間線量は、約7割低減しています。

③生活している中で、追加被曝線量年間1ミリシーベルトの基準が確保されない場合と なっています。 家屋周辺の里山除染 や、除染実施計画以外 の土地で、新たに宅地 化等を図る箇所につい ては、除染事業が実施 出来るように、国・県 に要望していきます。

雨水貯留タンク等の 設置費用の支援を

遠藤町長／環境・防災面でも効果があるので検討したい



公民館に設置されている雨水貯留タンク

北郷 ゲリラ豪雨等の浸水対策や雨水の有効利用推進するため、雨水貯留タンク、雨水浸透マス、浄化槽転用雨水貯留施設を設置する方に補助制度を制定して支援するべきではないですか。

町長 町内一円の、雨水流出における表面排水計画を基本として、雨水流失抑制施設の補助制度について、雨水の有効利用や町民の安全・安心の確保に向け、検討していきます。

※メッシュモニタリング 敷地内の放射線量を歩いてモニタリング(測定)し、結果を3m四方のメッシュ(網目)に着色させたもの。

除染効果が得られない箇所の 解消に向けた取り組みは

遠藤町長／実施できるよう国・県に要望する

北郷 平成29年度の町政運営に対する施政方針の中で、広野町除染実施計画が平成28年度をもって終了となりますが、平成24年度から継続的に実施している家屋等における環境モニタリング調査を引き続き実施し、生活圏における放射線の状況や影響等について情報を提供していく、と述べられています。

①今後、何年先まで実施していきますか。
②最近の調査結果は。
③除染効果が得られない具体的な箇所等はどこですか。また、解消に向けてどのように取り組めますか。

町長 ①福島第一原子力発電所が完全な廃炉に至るまで継続したいと考えており、事業継続を県、国に要望していきたいと考えています。
②平成28年度、一般家屋の定点モニタリング、※メッシュモニタリングを実施し、平成23年度と比較すると、家屋の1メートル高の空間線量は、約7割低減しています。

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成26年9月定例会● 一般質問
門馬 巧 議員

無人ヘリ農薬防虫剤散布を実現せよ

町の基幹産業でもある農業も、少子高齢化の影響を受け60才以上が大部分を占め、農業殺虫剤の散布作業が大変であり、無人ヘリ散布事業の実現に向けての支援策を講じる考えはありますか。

事例を調べ、検討

無人ヘリコプターによる防除作業に対する県の補助事業等支援はありませんが、無人ヘリによる病害虫防除をしている事例を調べ、関係機関と検討して行きます。

無人ヘリコプターによる防虫剤散布

近年カメムシの被害が多発しており、地域的な防除が必要となっていることから今年産については、無人ヘリコプターによる斑点米カメムシ類防除が実施されることになりました。実施時時期は8月初旬・中旬に実施予定です。



一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）